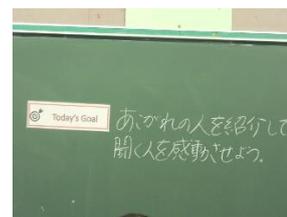


英語3年「あこがれの人物はだれ？」 E. Y 教諭



【授業の流れ】

(1) ウォーミングアップ (英語を学ぶ雰囲気づくり)

①挨拶 ②会話 ③歌

(2) 本時のねらい

「あこがれの人物について紹介し、その人の名言で聞き手を感動させよう」

学習内容が自分に役立ち生活に生かしたいこと (主体的) であり、学習活動がコミュニケーション (対話的) 中心となっている。なお、紹介文の作成において、既習の文法をフル活用した集大成となっている。

※関係代名詞を必ず一つ入れる。 例) ○○is a person who works for ...
あがれの人の言葉を入れる。 例) He said~

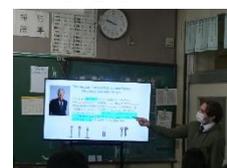
【範読】 教師によるプレゼンを聞く。

(分かりやすさ・ユーモア・話し方)

【個人】 各自リハーサルを行う。

【対話】 ペア活動を通して、より良いものに仕上げる。

ALT



次々とペアが変わり、プレゼンが徐々に向上していく。

(3) 発表

聞き手は感想を述べたり質問したりしながら会話を楽しむ。



あこがれの
バレーボール選手の言葉

※生徒に身に付けさせる「英語の表現力」を、3年間のカリキュラムを見通し、発達段階に応じて計画的に指導することが肝要。以下はその取組例。

ポスターセッション 「シンガポールの魅力を伝えよう」
「ユニバーサルデザインを広めよう」
パワーポイント I C T 「未来の自分へのメッセージ」
「絶滅危惧種」

これまでよく行われてきた I C T 活用法は、教師による教材提示であったが、今後は生徒にアウトプットさせることを柱に計画を立てることが重要。例えば、ワードで文章をまとめたり、プレゼン資料の作成や発表したりするなど、アウトプットの場面で生徒が積極的に活用するようにしたい。職員会議資料 4月